

# アントレプレナーシップ入門

—CASE の補足資料—

## 第 13 章 成長することの楽しさ, 難しさを知ろう

### CASE ●アップル:スティーブ・ジョブズの栄光と挫折

#### 1 アップル社の現状

アップル社は NASDAQ に上場しているので各種の会社情報は IR サイトから入手できる。業績や最新の話題などを見ることができる。

<http://investor.apple.com/>

#### 2 スティーブ・ジョブズについて

第 13 章ではアップルという会社よりはスティーブ・ジョブズというアントレプレナー個人に焦点を当てている。残念ながら彼は 2011 年 10 月 5 日に 56 歳で死去しているが、多くの情報が残っている。

教科書 187 頁にも記載した、2005 年にスタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチは必ず見てほしい。アントレプレナーシップの本質がわかるだろう。

[http://www.youtube.com/watch?v=XQB3H618t\\_4](http://www.youtube.com/watch?v=XQB3H618t_4)

また DVD でも彼の人となりが見られる。

■「スティーブ・ジョブズ」アッシュトン・カッチャー (出演) / ジョシュア・マイケル・スターン (監督), ポニーキャニオン

書籍も多くのもがある。教科書 196 頁のさらに学習する人のための文献に挙げたものが、最も生き様がよくわかる。

■W. アイザックソン（井口耕二訳）『スティーブ・ジョブズ』講談社，2011年

また最近の書籍ではアップルを追われてから創業したピクサーでのいきさつを書いたものをお勧めする。第 13 章のテーマである「成長することの楽しさ，難しさを知ろう」という趣旨にぴったりのものである。

■エド・キャットムル，エイミー・ワラス著（石原薫訳）『ピクサー流 想像する力』ダイヤモンド社，2014年

### 3 その他のお勧め書籍

「成長することの楽しさ，難しさを知ろう」という趣旨から，下記の書籍も非常におすすめである。シリコンバレーで一番注目されるベンチャーキャピタル（VC），アンドリーセン・ホロウィッツの生き様を書いており，クラウド企業のラウドクラウド社やオプスウェアを創業した時の楽しさと苦しさが生々しく書かれている。

■ベン・ホロビッツ（滑川海彦，高橋信夫訳）『HARD THINGS』日経 BP社，2015年

---

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および，大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。